

Mastery for Service

母校通信

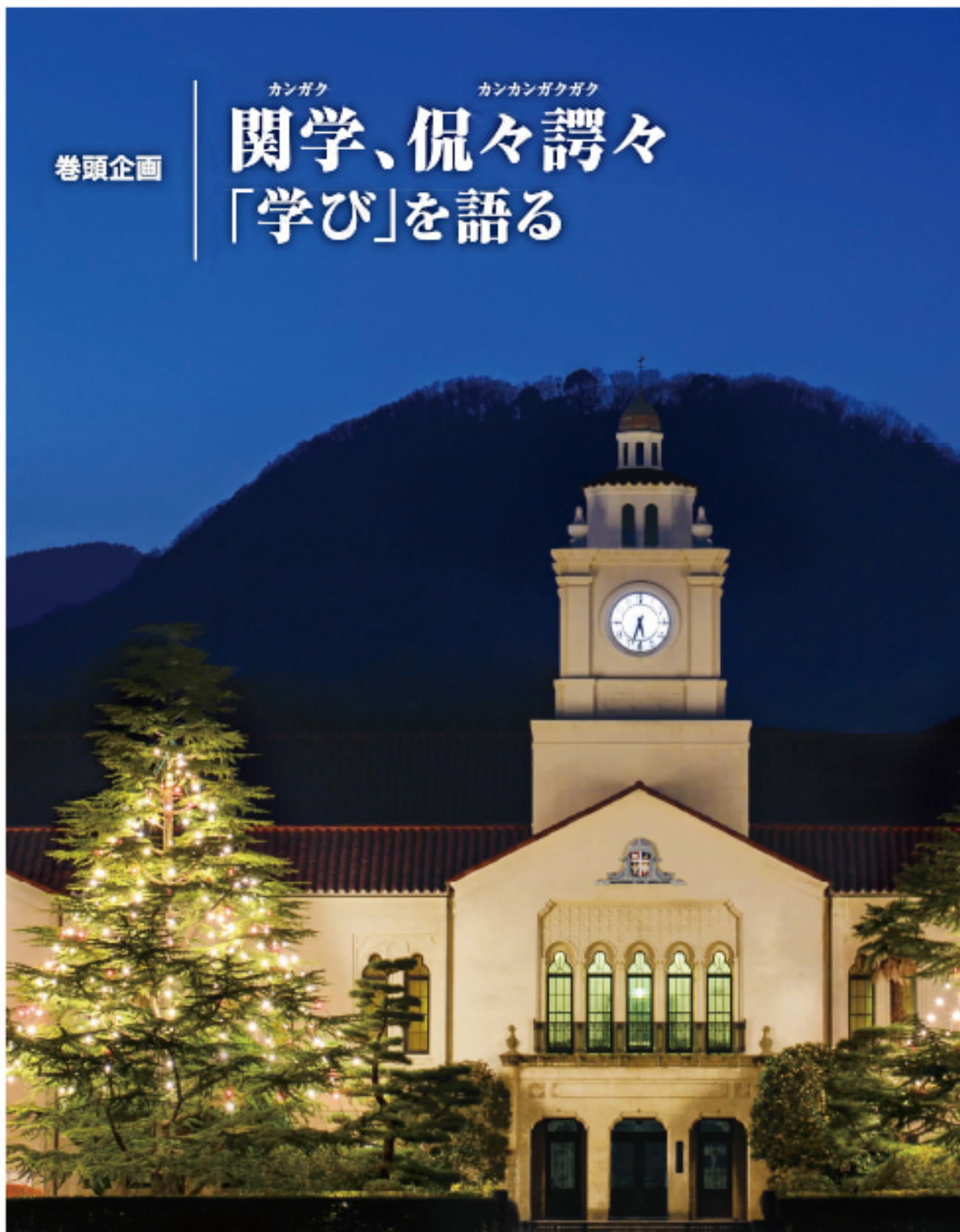
2021
Autumn
148号

巻頭企画

カンガク

カンカンガクガク

関学、侃々諤々 「学び」を語る



関西学院同窓会

関学、侃々諤々 「学び」を語る



2021年7月11日(日)
関西学院会館にて

「母校に学び、母校と歩み、 アフターコロナを 生き抜く術」

オリンピックも終わったというのに、まだコロナの脅威が収まらない。終息するどころか変異して居座り続け、人と人との距離を遠ざけ、人の楽しみや活動を制限し続けている。リモート会議や授業など働き方や学び方にも新たな可能性が生まれて、社会や人との繋がりは保たれているようにも見える。しかしこの長い闘いで、人間としての精神性やモチベーションが疲弊し始め、コロナ鬱も増えている。アフターコロナを生き抜いていくために、我々に何が必要なのか？

巻頭企画では、その答えを探る一助として、関学で学び直し今を輝いて生きている4人の同窓生に集まっていた。

今、関学ではリカレント教育に力を入れている。もう一度学びなおしたい同窓の方々、関学に戻り同窓生と出会い学び続けることは、きっとこれからの人生をより豊かにしてくれるだろう。

侃々諤々、今を充実して生きるための楽しい有意義な話がたくさん飛び交った。

編集委員長 塚本恵美子

きっかけは 身近にあった学ぶ姿

吉村 今回は、卒業後に自分で学びを求め、得るに向けてビジネスキャリアを進める同窓生に、学びなおしや今後の展望を伺いたいと思います。私も向井先生と同じように商学研究科マネジメントコース(以下「MBA」)で学びました。まずは、学びのきっかけからお聞かせください。

向井 大学生活は後悔で終え、一生消えませんが、アメリカンフットボール部史上最低の成績で終わった最高学年でしたから、その4年生の夏に、ゴールデンベアーズ(UCバークレー校)とファイターズ(KG)が組む交流試合(平成ポウル)がありました。当時、上ヶ原でバークレーの学生と試合に向けて練習していると、彼らはクラブ引退後に医学部に進むとか、弁護士になるために後5年は在学するという話をしていて、社会に出た時にこういう人たちには勝てないなと思いました。それなら、卒業してから勉強し直したいと考え、学生時代の後悔を消してやろうと思い、貯金を使って母校のMBAコースに入りました。

吉村 MBAというのは、関西学院に初めて開設された商学研究科マネジメントコースという社会人大学院です。当時の行政指針もあり国際競争力をつけるためにサラリーマンが理論やケースを学

ぶビジネススクールで、MBAは13期まであって、その蓄積を元により本格的なビジネススクールで世界に高度な人材を輩出しようということで、立ち上げられたのが専門職大学院経営戦略研究科(以下「IBA」)です。卒業生はMBA・IBA合わせて約4,300人いて、他学からの入学生も多く、関学の卒業生を増やしているという意味でかなり母校に貢献していますよね(笑)。相島さんはどういふきっかけでIBAに進まれましたか？

相島 私は語学・文学の出身というところもあり、物事を言葉や表現、感性、感情といった面で見える習慣がありました。50歳を機に、今までとは違う角度から物事に向き合ってみて、そうすれば生きていく上で景色が変わるかもしれないと思ったのがIBAに進んだ理由です。

吉村 相島さんの専攻は？
相島 マーケティングです。佐藤善信先生にお世話になりました。佐藤先生はじめIBAの先生方は個々人の経歴や

特性、問題意識等をよく考えてくださいます。佐藤先生には狭い意味でのマーケティングの領域を超えた研究の可能性をお示しいただき、「これまで自分がしてきたことは回り道ではあったけれど意味があったのだ」とほんとうに感動しました。気が付けば長いご縁になっています。

木村 私は職員としての初めての配属先がIBAでしたが、境遇も様々な社会人学生の方がお互いに助け合って学ぶ姿に大きな影響を受けましたし、それが今の自身の働き方・学び方に活かされています。関学が母体となっていて多様な価値観・考えが集まり、新しい学びを生むというのは、経験を積んだ社会人ならではのことで、IBAではそういうことが常に起こっているのが感動的な体験でした。

吉村 将来の自分のキャリアにつながるヒントが培われたということですね。
木村 私の場合は、法人部で学院の経営に携わる方のそばで働いたときに、これまで先を見てどう生きたいかを考える学びをしてこなかったことに気がつ

きました。社会人学生の皆さんが仕事と学業の両立に苦労される姿もみていたので、学位を取る自信はなかったのですが、IBAの大内先生がされている「ハッピーキャリアの「女性リーダー育成コース」の授業は、経営戦略や組織マネジメント等、これから働くうえで身に付けたい科目が用意され、学位課程に比べて学びやすいプログラムであることが存じ上げていたので、学びの扉をたたいてみようかという気になりました。

キャリアII人生

吉村 宮本さんはどういう経緯で起業したのですか？

宮本 起業のきっかけは、大学3年生の時に遡ります。私はキャリアのことを考えないまま就職活動を進めました。入社後も強いビジョンを持つわけでもなく10年間勤め、まわりが結婚していく中、自分はこのまま仕事を頑張るべきか、それとも自分の人生には別の幸せがあるのかなど悩んでいました。会社で

得られる知識は、仕事上でのスキルアップで、人生をどうやって幸せにしたいか、は見つけられませんでした。改めて自分の人生について向き合い、キャリアII仕事ではなく、キャリアII人生だと知り、キャリアコンサルタントの資格を取りました。その後転職し、関学のキャリアセンターで学生さんのキャリア支援に携わりました。

塚本 キャリアII人生とおっしゃいましたが、私たちはキャリアII仕事と捉えがちですが、若い方は皆さんそういう感じなのでしょうか？

宮本 今の学生さんはキャリアII人生と捉え、長く働くならこういう働き方がいいとか、子育て中はこうなっていたい、というようなライフワークバランスも意識しながら就職活動に取り組んでいたように感じます。ただ、社会人になると自分のキャリアを振り返るきっかけがなくなります。そこで、そういった機会を提供できる側になりたいと思いい、起業しました。



向井光太郎

1991(H3)年法学部を卒業後、コクヨ株式会社で在職中の1999(H11)年商学研究科マネジメントコース修了(経営学修士)。関西学院大学キャリアセンター職員、奈良先端先端大学および和愛大学教員を経て、現在は、関西学院大学ハンスオンラーニングセンター准教授。



相島淑美

上智大学卒業後、日本経済新聞東京本社編集局(流通経済部)で記者として勤務。その後、慶応義塾大学大学院を経て、2015(H27)年に関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科、2019(H31)年大学院博士課程を卒業し、現在は神戸学院大学経営学部准教授、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科非常勤講師。



木村愛

2011(H23)年に社会学部を卒業し、母校の職員として経営戦略研究科(IBA)で6年、キャリアセンターで3年、法人部で2年勤め、現在は宮岡記念館事務室(神学部担当)で勤務。その傍ら、ハッピーキャリアプログラム・女性リーダー育成コースを受講中。



宮本ちは

2008(H20)年文学部を卒業し、民間企業で10年間勤務。キャリアコンサルタント資格取得後、母校のキャリアセンターで3年勤め、2021年4月に社会人のキャリア形成をサポートする「窓キャリアアカデミー」を起業。

社会人にこそ必要な 学びのアップデート

吉村 向井先生は多くの大学を経験されていますが、どれも入念に計画されて来られたのですか。

向井 特には計画していません。目の前のために何が出来るのか、あくまでシンプルに行動しています。その原動力は、やはり関学のスクールモットー(Mastery for Service)で、大学入学時から35年ずっと持ってきたし、これからの一生背負っていきます。今の前の関学学生のために全ての使命があるわけで、僕も当たり前ですが学び続けています。大学に受かるための勉強で固まってきた学生が、いずれは誰か、何かのために自分をぶつけてもらいたいので、僕にはそのための新たな学びの機会を作る役目があります。

塚本 ハンズオン・ラーニングセンターは、新しくできたセクションですよ。

向井 発足から5シーズンの新しいセンターですが、教養の幹をより強く強くしていく、いわば「学びのOS」を作り直すことに特化した科目を提供しています。世間では何かが起こると「想定外」とよく言いますが、あれは責任と思考を手放している姿です。そうならないために、徹底的に考え抜く知的なトレーニングを大学生に課しています。日本唯一であり、関学だからこそ

やらなければならぬものです。

塚本 関学が国内で唯一の提供プログラムなのですが、もう少しご説明いただけますか。

向井 大学を出て社会に学ぶ。コアの精神の下、物事に対して具体的な方策や戦略などの答えをすぐに求めるのではなく、そもそもこの社会にどんな課題があるのか、今の世の中がなぜこうなっているのかを徹底的に考えていき



から学ぶことができ、独学では得られない相乗効果がありました。

宮本 このコロナ禍の中で不安や孤独感を感じている方は、一人で抱えたままにせず、言葉や文字にしてみることで、気持ちも和らぐように感じます。私自身もノートに書き出したり、人に話したりすることで感情を吐き出して整理しています。

学びに遅いということはない

木村 ハッピーキャリアでの学びを通して、学びに遅いということはなく、新しいことを学び、人に会うことは、その時にはわからなくても、必ず大きな価値となることも知りました。行動することで見える景色は変わります。学んだことを自分の働く場所に持ちかえることができることも気づくこと

ます。そのために、書籍や文献を読み込み、学外での演習やフィールドワーク、合宿型の実習、プロジェクト型インターンシップなどを通して、例えば社会の大きな出来事はなぜ起こったのか、背景に何があるのかなど、学生同士が一緒に触れていき、人間の心の在り方を世の中に問い直すことにも挑みます。そんな感じでしょうか。

木村 それこそ大学の学びですね。社会人として働く中で、日頃ニュースは目にしていますが、物事の本質を捉えるような考え方や視点をだんだん忘れてしまっています。時には学びの場に戻って、考え方をアップデートすることが大切だなと感じました。社会人にこそ、求められているのではないかと思います。

宮本 キャリアを積んで経験値が増えると価値観がしっかりとできていきます。だからこそ、それを疑うのが怖くなります。キャリアがあるからこそ、学びを通じて問い直すことが大切だと思っています。

相島 同感です。英語とマーケティングの両方を教えていますが、例えば日本語資料だけでは見えないことがある、英語資料では違う視点から取り上げられ、それを知れば全く違うものが見えてくるかもしれない、とお話します。一つのことに対して様々な見方があります。ですから多面的な見方を知ることが重要です。

ができました。

相島 一人の時間が増えたなら、たとえば、高校の時の好きだったことや高校の先生から言われた話などを思い出してみようでしょう。気づかないうちにいろいろな言葉が自分の中に根を下ろしていることに改めて気づかされます。

向井 一人を楽しんでみる、孤独を楽しむのいいのではないかと。グループワークやチームワークは個人プレーだと思っていて、いかに一人の自分で作り込んで集結するかが大切です。いずれチームになった時にいろんなスタイルがとれるように、あえて一人で考えを深める時を過ごすことも大切ではないでしょうか。

吉村 個人がしっかりと自立していると、チームのパフォーマンスもあがるでしょうね。今日は体験を踏まえたお話をありがとうございました。

コロナ禍の一人時間を 学びのための一歩に

吉村 コロナ禍でコミュニケーションが断たれられている方が、一歩踏み出すための方法やモチベーションの維持についてアドバイスをお願いします。

相島 挑戦しても希望通りの結果が出なかつた時は自分の能力を否定するのではなく、「今の状況ではなかつた」と思うようにしています。聖書に「すべてのわざには時がある」という言葉があります。うまくいかない場合は「時」がまだ満ちていないと受け止め、来るべき時にむけて準備していくとよいのでは。

木村 私は人から聞いた言葉が、新たな小さな一歩のモチベーションになることがあります。今回のハッピーキャリアも経営について学びたいと考えていた時に、勤めてくださる方がいらつしやつたので、あまり抵抗感なく、これからは人から頼まれたり勧められたりするのを大切にしたいなと思っています。

宮本 私は4月に起業したので、固定給が入らないという経験を初めてしました。この経験から未知の体験は怖さを伴うことも改めて感じました。その怖さを打破するために、同じような経験をし、今活躍している方を検索してその方のプロセスを知ったり、実際に



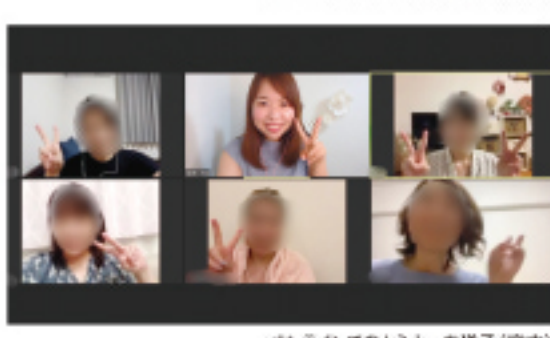
社会探究実践演習1(大阪上本町)科目のしめくり(7月24日) (向井)



関西学院大学大学院 博士課程後期課程 先端マネジメント専攻 2018年度秋学期学位授与者 2019.3.16(相島)



ハッピーキャリアの入学式の様子(木村)



オンラインでのセミナーの様子(宮本)



吉村 司
副学長 編集委員

2000(H12)年に商学研究科マネジメントコース(MBA)を卒業。現在は、奈良後援短期大学生生活来科にて准教授ビジネスキャリアコース長。様々な業種のマーケティング企画、講座を提供する「eナレッジコミュニケーションズ」の代表。

- *1.リカレント教育
リカレント教育とは、人々の生涯にわたって学校教育を分断させようとする理念。職業上必要な知識・技術を修得するために、就労しながら必要に応じて学び直すこと。人生100年時代となり、就労期間の長期化を見据え、定年後の再就職、キャリアアップを目指すために必要な学びでもある。
- *2.MBA
1993年関西学院大学大学院商学研究科にマネジメントコースが開設される。開設当時、授業は上ヶ原キャンパスの商学部を中心に西宮球場内ホール棟の会議室や梅田教会など多彩な教室で行われ、平日の夜と土曜日に商学研究科や他校の先生も招聘され平日昼間「議論が交わされた。MBAはマネジメントコースで取得する学位名(Master of Business Administration: 経営学修士)。
- *3.IBA
2005年マネジメントコースが発展的に改組され、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科(Institute of Business and Accounting)となった。プログラムは、高度な専門知識とグローバルな感性を備えたビジネスリーダーを
- 育てるもので、21世紀の国際経済をリードする経営、会計のプロフェッショナルの養成を目指している。MBAはその前身。なお、MBAとIBAを総称する国際協会として「KG-MBAマネジメント研究会」がある。
- *4.ハッピーキャリア
社会人対象のビジネススクールとしてリカレント教育に力を入れた社会人のための学び演習のプログラム。女性活躍推進を促すための女性のキャリアアップ・起業コース、女性リーダー養成コース、大学連携オンラインコースが開設されている。
- *5.ハンズオンラーニング
国内で唯一、関西学院大学が提供する教育プログラム。「触れる」をキーワードとした学びのスタイルが特徴。インプットとアウトプットを意識し、「考える」ことそのものを鍛え、大学の学びの基礎となる「知的基礎力」を身につける。
- *6.クリティカルシンキング
感情を含めた主観的な視点でなく、客観的な視点でものを分析すること。

【注釈】